

頸城地区直轄地すべり防止事業

当地区は、新潟県南西部（上越市及び十日町市）に位置。フォッサマグナの西縁にあたり、新第三紀層の堆積層と砂岩泥岩層からなる脆弱な地質、また、国内有数の豪雪地帯にあり、国内有数の地すべり地帯。

当地区の地すべり地の復旧対策は、規模が著しく大きく、高度な技術を必要とするため、新潟県等の要望を受けて、昭和35年度より直轄地すべり防止事業に着手。令和3年度には上牧区域（上越市）を直轄施行区域に追加。これまで、必要に応じて全体計画を見直しながら地すべり対策を実施するとともに、対策が完了した区域は、新潟県へ順次移管。

被害状況



音沢区域の被災状況（H17）

荒廃状況



上山区域の被災状況（H31）



【事業計画期間】

昭和35度～令和12年度（71年間）

【予算措置状況】

全体計画額	: 21,755百万円
R5当初予算	: 448百万円
R5補正予算	: 36百万円
R6当初予算	: 489百万円
R6補正予算	: 264百万円
R7当初予算	: 232百万円
（ R7末進捗見込 93.2% ）	

【主要工事計画】

集水井工 180 基（164基）

＜R7施工予定 1基＞

鋼管杭工 3,470本（3,384本）

＜R7施工予定 —ha＞

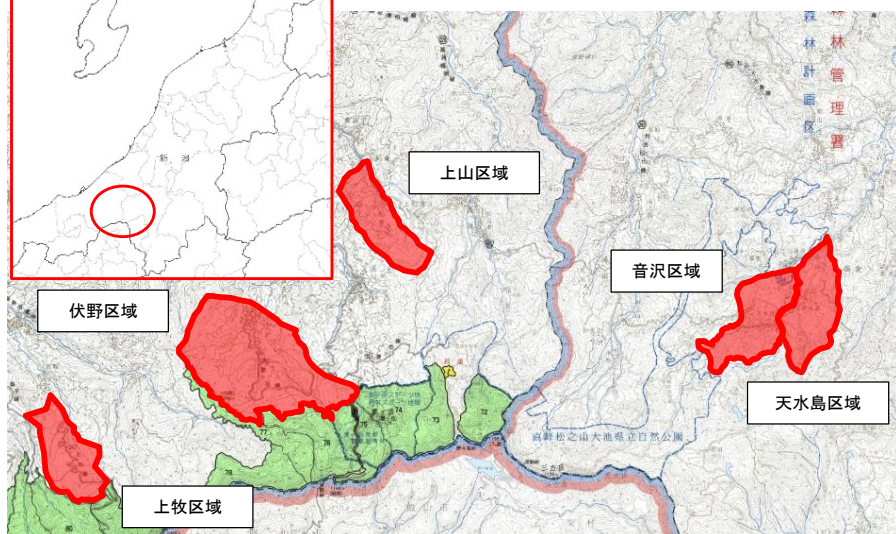
注：（ ）内は施工済数量

【主な保全対象】

人家	508 戸
国県道	18.7 km
農耕地	288.2 ha

位置図

出典：白地図（国土地理院）を加工



施工状況

山腹工、抑制工（集水井工等）、抑止工（アンカー工等）により地すべり滑動の安定化を図っている。



山腹工



アンカー工